

ロータリークラブとSDGsについて

2019-20年度国際ロータリー第2830地区
ガバナー 沼田 廣



ロータリークラブは、1905年2月、アメリカ・シカゴロータリークラブが設立されて、今では200以上の国、地域に広がり、クラブ数で約35,800、会員数で約122万人に達する世界的規模の奉仕団体です。青森県全域をカバーする第2830地区は、クラブ数41、会員数約1,200人を擁し、ロータリーのビジョン「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」のもと、日々奉仕活動を行っています。特にロータリーは、大きなニーズのある6つの分野に重点を置き、人びとの暮らしを支援しています。その6つの重点分野とは、①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展です。

当地区では、タイにおける学校等への浄水器設置、病院への脳卒中治療機器設置、識字率向上のための書籍寄贈やインドにおけるポリオ根絶事業などを継続的に行いこの重点分野への貢献を果たしています。

さて、最近街を歩くとSDGsバッジという17色のドーナツ形のバッジを胸につけている人を見かけることが多くなりました。SDGs（エス・デー・ジーズ）とは、2015年の国連サミットで採択されたSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の頭文字をとったものです。具体的に

は、2030年までに達成すべき次の17の目標を掲げています。 1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさも守ろう 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナリシップで目標を達成しよう

この他に169の具体的なターゲットが定められています。先般のG20大阪サミットでは、プラスチックごみの削減に向けた取り組みが大きなテーマとなりましたが、このSDGsから由来するものです。

先に掲げたロータリーの6つの重点分野は、この17の目標と密接な関係を持っており、国際潮流を先取りしたものとして高く評価されています。企業もこのSDGsを企業活動の根幹に取り入れる動きが加速しており成長戦略の要ともなりつつあります。ロータリーは、このSDGsを連結軸として国、地方自治体、NPO、企業とも連携し、全ての人々が平和、繁栄、安全、平等を享受できる社会の実現に向けて歩みを進めています。